

経尿道的尿管碎石術（TUL）を受けられる方へ

月日（日時）	／	／	／	／	／
経過（病日等）	手術前日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後 1 日	手術後 2 日目～退院
達成目標	・手術の目的・内容を理解し、安心して手術に臨めるようにしましょう。 ・必要物品を準備しましょう。		・手術後の痛みや尿の管の違和感をコントロールしましょう。 ・全身状態を安定できるようにしましょう。 ・異常が早期に発見できるようにしましょう。	・痛みや尿の管の違和感がなく、歩行や日常の動作ができるようにしましょう。 ・飲水をこころがけ、尿の管を抜いた後もスムーズに排尿できるようにしましょう。	・退院後の生活について理解できるようにしましょう。 ・症状悪化時の対処方法がわかるようにしましょう。
点滴		・手術前に点滴が始まります。		・点滴が続きます。	
薬	・現在内服している薬を確認します。 ・現在内服中の薬について ☐ 普段通りにお飲みください。 ☐ 中止の薬があります。（ ） ・21 時に下剤を内服します。	・医師の指示により（ ）を内服します。 		・中止薬以外、通常通りにお飲みください。	・中止薬以外、通常通りお飲みください。
検査	・身長と体重を測ります。 ・レントゲンがあります。				
処置		・準備に呼ばれたら手術衣に着替えて、弾性ストッキングをはきます。 ・歩ける方は歩いて手術室に行きます。	・足に血栓予防のためにフットポンプ（ふくらはぎのマッサージ器）が付きま す。 ・必要に応じて酸素吸入を翌日朝まで行 います。	・朝フットポンプをはずします。 ・尿の管を抜きます。 	
活動 安静度	・制限はありません。		・ベッド上安静になります。 ・寝返りはできません。	・朝から歩行が可能となりますが、最 初の歩行時は必ず看護師が付き添 います。	・制限はありません。
食事	・夕食後は禁食となります。 ・22 時までは水とお茶のみ可能ですが、22 時からは禁飲食となります。	・禁飲食です。 	・禁飲食です。	・朝から食事が開始となります。	・制限はありません。 
清潔	・手術のために身体をきれいにしましょう。	・入浴やシャワー浴はできません。		・身体を拭くための温かいタオルをお 持ちします。	・点滴が終了し、点滴の針が抜けてい ればシャワー浴ができます。
排泄		・起床時に下剤の座薬を使用します。 ・排便状況を確認します。 ・手術の準備に呼ばれたらトイレを済ま せてください。	・手術後は尿の管が入っています。 ・手術後は安静のため、排便はベッ ド上となりますので、ナースコールで お知らせください。 	・医師の指示により尿の管を抜きま す。 ・尿の管を抜いた後、医師の指示があ る場合はカルクキャッチ®（尿を濾 して石を回収する容器）で尿をこし てください。	
患者様への説明 生活指導	・入院生活について説明いたします。 ・手首にネームバンドをつけます。 ・お薬手帳をお持ちください。 ・手術の一連の流れについて説明いた します。 ・手術に必要な物品を確認します。 ・売店でオムツを1枚ご購入ください。 ・医師から手術について説明いたしま す。 ・同意書を確認します。 ・手術中の顔色や爪色の観察のため、化 粧やマニキュアは落としてください。	・手首にネームバンドがついているか確 認してください。 ・手術室へ出発するときは、時計、眼鏡、 義歯、湿布、指輪、かつら・ヘアピン・ 補聴器を外します。	・手術室前でご家族に手術についてお 話があります。手術室から呼び出し がありましたら看護師がお知らせ しますので、それまではラウンジで 待機してください。 ・尿の管の違和感、腹部の不快感、頭 痛、吐き気／嘔吐が出現する可能性 があります。そのような場合には速 やかに看護師へお知らせください。		・退院時に別紙にて次回外来日について説明 いたします。 ・入院中使用していた方はカルクキャッチ®は 自宅で使用を継続し、回収できた石と伴に 次回外来日に持参してください。 ・退院後も十分な水分摂取をこころがけ てください。 ・もしも退院後に、血尿が強い場合（トマ トジュース様）や、38 度以上の発熱が持 続している場合は、外来へ電話にてご相 談ください。 ・手術を受けるにあたり、血液をさらさら にする薬など内服薬を一時中止している 方は、医師の指示により、内服を再開し てください。

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。

※入院期間については現時点で予測される期間です。